

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 地方港湾 大竹港（小方地区）再編計画に係る調査業務委託

事業・工事名

調査目的及び調査対象 港湾 構造物基礎

ボーリング名	No.6	調査位置	広島県大竹市小方一丁目地先	北緯	34° 14' 10.5762"
発注機関	広島県西部建設事務所廿日市支所			調査期間	令和5年10月 2日～ 令和5年10月 4日
調査業者名	主任技師			現場代理人	コ ア 鑑 定 者
ボーリング責任者				ポンプ	東邦地下工機BG-3C
孔口標高	TP -7.10m	角	180° 上 下 0°	方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総削孔長	24.00m	度	0°	地盤勾配	鉛直 0° 90°
使用試験機	東邦地下工機D1-B			エンジン	ヤンマーディゼルNFD-10
ポンプ	東邦地下工機BG-3C				

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色	相對密度	相對稠度	記 事	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					試料採取		室内試験	削孔月日		
											深度 (m)	N 値	100mm毎の打撃回数	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深 度 (m)	採取方法				
1				礫混り砂	灰	rd1			砂は粗砂が主体である。		0	1.15	1	1	3	300	1.15	P-1	⊖	土粒子密度、自然含水比、粒度	10 2
2									礫はφ2~5mm程度が主体で、φ10mm程度までが多く混入する。		1.45	1	1	3	300	1.45	P-2	⊖	土粒子密度、自然含水比、粒度		
3									貝殻片も混入する。		2.15	1	1	3	300	2.15	P-3	⊖	土粒子密度、自然含水比、粒度		
4									含水比は高い。		2.45	1	1	3	300	2.45	P-4	⊖	土粒子密度、自然含水比、粒度		
5											3.15	1	1	2	400	3.15	P-5	⊖	土粒子密度、自然含水比、粒度		
6											3.55	1	1	3	300	3.55	P-6	⊖	土粒子密度、自然含水比、粒度		
7	-13.80	6.70		礫・シルト混り砂	緑灰	rd3			砂は細砂~粗砂で、粗砂が主体である。礫はφ2~5mm程度が主体で、最大はφ3.0mm程度が混入する。細粒分も多く混入する。貝殻片も少量混入する。		4.15	1	1	3	300	4.15	P-7	⊖	土粒子密度、自然含水比、粒度		
8	-15.90	8.80			黄茶						4.45	1	1	3	300	4.45	P-8	⊖	土粒子密度、自然含水比、粒度		
9											5.15	1	1	3	300	5.15	P-9	⊖	土粒子密度、自然含水比、粒度		
10				粘土混り砂礫	黄茶緑灰				砂は粗砂が主体である。礫はφ2~20mm程度が多く混入し、最大はφ50mm程度を確認。部分的にマサ状の風化花崗岩を混入する。細粒分も多く混入する。GL-12.00~12.70m間は細粒分が少なくなる。		5.45	1	1	2	300	5.45	P-10	⊖	土粒子密度、自然含水比、粒度 液性限界、塑性限界		
11											6.15	1	1	2	300	6.15	P-11	⊖	土粒子密度、自然含水比、粒度		
12											6.45	3	4	7	14	300	6.45	P-12	⊖	土粒子密度、自然含水比、粒度	
13	-19.80	12.70		礫質砂	黄茶	rd3			砂は細砂~粗砂で、粗砂が主体である。礫は垂角礫の2~5mm程度が主体で、最大は15mmが混入する。		7.15	11	11	33	300	7.15	P-13	⊖	土粒子密度、自然含水比、粒度 液性限界、塑性限界		
14											7.45	11	11	33	300	7.45	P-14	⊖	土粒子密度、自然含水比、粒度 液性限界、塑性限界		
15	-21.90	14.80							GL-15.00m付近は粘土分を多く含む。		8.15	17	7	8	32	300	8.15	P-15	⊖	土粒子密度、自然含水比、粒度 液性限界、塑性限界	
16									砂は細砂~粗砂で、粗砂が主体である。礫は垂角礫の2~30mm程度が主体で最大は60mmを確認。細粒分も多く混入する。		9.45	5	6	10	21	300	9.45	P-16	⊖	土粒子密度、自然含水比、粒度 液性限界、塑性限界	
17											10.15	8	7	32	300	10.15	P-17	⊖	土粒子密度、自然含水比、粒度 液性限界、塑性限界		
18				礫質砂	暗茶緑灰	rd4			部分的にマサ状の花崗岩も混入する。		10.45	25	15	10	50	300	10.45	P-18	⊖	土粒子密度、自然含水比、粒度 液性限界、塑性限界	
19											11.15	17	8	7	32	300	11.15	P-19	⊖	土粒子密度、自然含水比、粒度 液性限界、塑性限界	
20											11.45	25	15	10	50	300	11.45	P-20	⊖	土粒子密度、自然含水比、粒度 液性限界、塑性限界	
21	-28.30	21.20		風化花崗岩	淡灰				ほとんど白色化している。部分的に未風化の礫がある。GL-23.00m以降、新鮮となる。		12.15	5	6	7	18	300	12.15	P-21	⊖	土粒子密度、自然含水比、粒度 液性限界、塑性限界	
22											12.45	5	3	3	11	300	12.45	P-22	⊖	土粒子密度、自然含水比、粒度 液性限界、塑性限界	
23											13.15	12	9	13	34	300	13.15	P-23	⊖	土粒子密度、自然含水比、粒度 液性限界、塑性限界	
24	-31.10	24.00									14.45	20	10	14	44	300	14.45	P-24	⊖	土粒子密度、自然含水比、粒度 液性限界、塑性限界	
25											15.15	20	30	50	200	15.15	P-25	⊖	土粒子密度、自然含水比、粒度 液性限界、塑性限界		

